

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-125952

(43)Date of publication of application : 11.05.2001

(51)Int.Cl. G06F 17/60

(21)Application number : 11-303550

(71)Applicant : FUJITSU LTD

(22)Date of filing : 26.10.1999

(72)Inventor : NAKAYAMA YUKIO
FUJITANI CHIAKI
SAKAMOTO KAORU

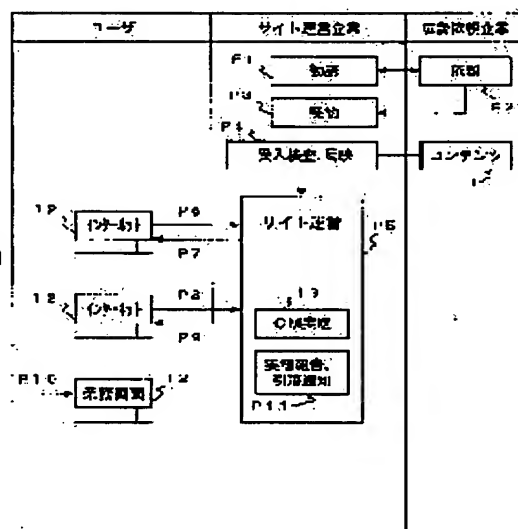
(54) ADVERTISEMENT SYSTEM AND METHOD

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To give any special favor to a customer watching a advertisement displayed on the screen of a computer.

SOLUTION: A site management enterprise displays the contents 11 of advertisement provided form an advertisement requesting enterprise on a site on the Internet (P4) and manages the site (P5). When a client 12 is connected to the site (P6), the advertisement is on-line displayed on the screen of the client 12 (P7), and when a user agrees off-line display (P8), a program and advertisement information are downloaded (P9). Then the advertisement is displayed on the screen and points are added in accordance with the displayed contents and display time.

広告提供の仕組みを示す図



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

13.11.2003

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-125952

(P2001-125952A)

(43) 公開日 平成13年5月11日 (2001.5.11)

(51) Int.Cl.⁷
G 0 6 F 17/60

識別記号

F I
G 0 6 F 15/21

テマコード* (参考)
Z 5 B 0 4 9

審査請求 未請求 請求項の数10 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願平11-303550
(22) 出願日 平成11年10月26日 (1999. 10. 26)

(71) 出願人 000005223
富士通株式会社
神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号
(72) 発明者 中山 幸雄
神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内
(72) 発明者 藤谷 千明
神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内
(74) 代理人 100074099
弁理士 大菅 義之 (外1名)

最終頁に続く

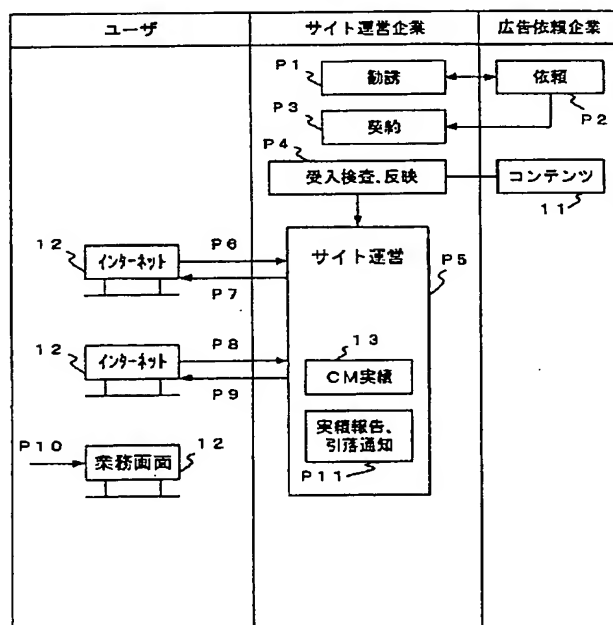
(54) 【発明の名称】 広告システムおよび方法

(57) 【要約】

【課題】 コンピュータ画面上で広告を見た顧客に対して何らかの特典を与えることが課題である。

【解決手段】 サイト運営企業は、広告依頼企業から提供される広告のコンテンツ11を、インターネット上のサイトに掲載し (P4)、サイトを運営する (P5)。クライアント12がサイトに接続すると (P6)、画面上に広告がオンライン表示され (P7)、ユーザがオフライン表示を了承すると (P8)、プログラムと広告情報がダウンロードされる (P9)。そして、画面上に広告が表示され、表示内容と表示時間に応じてポイントが加算される (P10)。

広告提供の仕組みを示す図



【特許請求の範囲】

【請求項1】 広告情報を格納する広告格納手段と、前記広告情報が表示されたときに該広告情報の内容と表示時間に応じたポイント情報を生成するためのプログラム情報を格納するプログラム格納手段と、前記広告情報と前記プログラム情報を送信する送信手段とを備えることを特徴とする広告システム。

【請求項2】 前記プログラム格納手段は、前記プログラム情報を含む業務用プログラムを格納し、前記送信手段は、前記広告情報を該業務用プログラムとともにユーザ端末にダウンロードし、該業務用プログラムは、該ユーザ端末上で、該広告情報を業務画面に自動的に表示し、前記ポイント情報を生成することを特徴とする請求項1記載の広告システム。

【請求項3】 前記プログラム情報は、前記広告情報と業務用プログラムがダウンロードされてから一定時間が経過したか否かを判定するための情報と、該一定時間が経過したときに前記ポイント情報を生成するための情報とを含むことを特徴とする請求項2記載の広告システム。

【請求項4】 前記プログラム情報は、前記ポイント情報に基づいて前記業務用プログラムの利用期間を延長するための情報を含むことを特徴とする請求項2記載の広告システム。

【請求項5】 前記プログラム情報は、前記広告情報の表示の可否を選択するための情報と、該広告情報の表示が拒否されたときに該広告情報を削除するための情報とを含むことを特徴とする請求項1記載の広告システム。

【請求項6】 前記プログラム情報は、前記表示時間を計測するための情報を含むことを特徴とする請求項1記載の広告システム。

【請求項7】 広告情報を表示する表示手段と、前記広告情報の内容と表示時間に応じたポイント情報を生成する生成手段とを備えることを特徴とする広告システム。

【請求項8】 前記広告情報の表示の可否を選択する選択手段と、該広告情報の表示が拒否されたときに該広告情報を削除する削除手段とをさらに備えることを特徴とする請求項7記載の広告システム。

【請求項9】 コンピュータのためのプログラムと広告情報を記録した記録媒体であって、前記プログラムは、前記広告情報が表示されたとき、該広告情報の内容と表示時間に応じたポイント情報を生成する処理を前記コンピュータに実行させることを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項10】 広告情報とプログラム情報とをユーザ端末にインストールし、前記広告情報を画面に表示し、前記プログラム情報の指示に従って、前記広告情報の内容と表示時間に応じたポイント情報を生成し、

前記ポイント情報に基づいてユーザに特典を与えることを特徴とする広告方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、コンピュータ画面上に広告情報を表示する広告システムおよびその方法に関する。

【0002】

【従来の技術および発明が解決しようとする課題】インターネット上のバナー（banner）広告のように、企業の広告を顧客のコンピュータ画面上にオンライン表示したり、顧客が通常のプログラムとともにダウンロードした広告を業務画面に自動表示したりするシステムは、従来から存在している。しかし、このようなシステムでは、広告の掲載を依頼した企業への特典は考慮されていたが、広告を見る顧客側への配慮はなされていない状況であった。

【0003】本発明の課題は、コンピュータ画面上で広告を見た顧客に対しても何らかの特典が与えられるような広告システムおよびその方法を提供することである。

【0004】

【課題を解決するための手段】図1は、本発明の広告システムの原理図である。図1の広告システムは、広告格納手段1、プログラム格納手段2、および送信手段3を備える。

【0005】広告格納手段1は、広告情報4を格納する。プログラム格納手段2は、広告情報4が表示されたときに広告情報4の内容と表示時間に応じたポイント情報を生成するためのプログラム情報5を格納する。送信手段3は、それらの広告情報4とプログラム情報5を送信する。

【0006】広告情報4は、企業の広告、公的機関の公報、および個人や団体の非営利的な掲載情報のように、任意の掲載情報を含む。また、プログラム情報5は、広告情報の表示に伴う処理を記述している。送信手段3は、送信先装置6からの要求に応じて、広告格納手段1に格納された広告情報4とプログラム格納手段2に格納されたプログラム情報5を装置6に送信する。装置6上で広告情報が表示されると、装置6は、プログラム情報5の指示に従って、表示された広告情報4の内容と表示時間に応じたポイント（得点）情報を生成する。

【0007】このような広告システムによれば、広告情報とプログラム情報が顧客等のユーザ端末に送信されたとき、ユーザ端末上で広告情報が表示された時間と広告情報の内容とに応じてポイントを加算し、ポイントに応じた特典をユーザに与えることが可能になる。したがって、ユーザが広告を見る時間が長いほど、多くのポイントが加算され、大きな特典が与えられることになる。

【0008】例えば、図1の広告格納手段1およびプログラム格納手段2は、後述する図9の外部的記憶装置55

に対応し、図1の送信手段3は、図9のネットワーク接続装置57に対応する。

【0009】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照しながら、本発明の実施の形態を詳細に説明する。

【0010】本実施形態においては、ユーザがプログラムとともにダウンロードした広告情報が画面上に表示され、表示内容と表示時間に応じてポイント加算が行われる。ユーザは、獲得したポイントに応じて、ダウンロードしたプログラムの利用期間の延長等の特典を受けることができる。また、ユーザは、画面上で広告情報の表示を拒否することもでき、表示内容に応じて特典を受けるか否かを選択することができる。

【0011】図2は、このような広告提供の仕組みを示している。図2において、サイト運営企業は、広告依頼企業とユーザを結び付けるインターネット上のサイトを運営する企業である。

【0012】まず、サイト運営企業は、業務用プログラムを提供するサイト上に広告（commercial, CM）を掲載するように広告依頼企業を勧誘し（P1）、広告依頼企業は、CMの掲載を依頼して（P2）、掲載契約を結ぶ（P3）。次に、サイト運営企業は、広告依頼企業から提供されるCMのコンテンツ11の受入検査を行い、それをサイトに反映して（P4）、サイトを運営する（P5）。

【0013】次に、ユーザが端末（クライアント）12からインターネットを介してサイトに接続すると（P6）、クライアント12の画面上にCMがオンライン表示される（P7）。次に、ユーザがそのCMのオフライン表示を了承すると（P8）、業務用プログラムとCM情報がダウンロードされて、クライアント12にインストールされる（P9）。そして、業務画面（初期画面や処理画面）上にCMが表示され、CMの表示内容と表示時間に応じてポイント加算が行われる（P10）。

【0014】このように、本実施形態では、サイトによるオンライン表示とダウンロード後のオフライン表示の2段階で、CMが表示される。CM情報をダウンロードしてオフライン表示することにより、オンライン表示の場合と比較して、露出度を向上させることができる。また、サイト側では、CM情報のダウンロード実績13が管理され、広告依頼企業に対して、実績報告やCM掲載料金の引落通知が行われる（P11）。

【0015】図3は、このような広告システムの構成図である。図3の広告システムは、複数のクライアント12とサイト運営企業のサーバ21を含み、クライアント12とサーバ21は、通信ネットワーク22により接続されている。

【0016】サーバ21は、CM情報を記録した圧縮ファイルであるCMデータ31を管理し、クライアント12からの要求に応じて、CMデータ31をクライアント

12にダウンロードする。CMデータ31には、テキスト等のメッセージデータ、GIF（graphics interchange format）形式等の画像データ、音声データ、加算されるポイント等の情報が含まれる。

【0017】また、サーバ21は、各CM毎のダウンロード回数32を実績としてファイルに記録しておく。このファイルには、広告依頼企業の名称、企業コード、一定期間内のダウンロード回数等が記録される。

【0018】クライアント12は、CMデータ31を画面上に表示するとともに、ポイント加算を行い、ポイント情報33を生成する。このとき、表示開始時刻を時刻情報34として記録しておき、それに基づいてCMの表示時間を計測して、時間情報35として記録する。そして、時間情報35に応じてポイントを加算する。また、クライアント12は、業務用プログラムの使用期限36を管理し、ポイント情報33に基づいて使用期限36を延長（更新）する。

【0019】図4は、図3の広告システムにおける広告提供処理のフローチャートである。まず、サーバ21は、CMをクライアント12の業務画面上にオンライン表示し（ステップS1）、ユーザがそのCMのオフライン表示を了承したか否かを判定する（ステップS2）。このとき表示されるCMには、オフライン表示を了承することにより加算されるポイントの情報が含まれており、ユーザは、その情報に基づいてオフライン表示の可否を選択することができる。

【0020】サーバ21は、ユーザがオフライン表示を了承しなければ、ステップS1の処理を繰り返し、ユーザがそれを了承すれば、CMデータ31をダウンロードする（ステップS3）。

【0021】次に、クライアント12は、CMを自動的に業務画面上にオフライン表示し（ステップS4）、ユーザがCMの継続表示を許可したか否かを判定する（ステップS5）。ユーザがCMの継続表示を許可すれば、CMの表示時間をカウントし、一定時間が経過したか否かを判定する（ステップS6）。

【0022】一定時間が経過すれば、次に、所定のアルゴリズムに従ってポイント加算処理を行い（ステップS7）、加算結果に応じて業務用プログラムの利用期間を延長する。そして、CMデータ31をクライアント12から抹消して（ステップS8）、ステップS1以降の処理を繰り返す。

【0023】ステップS5においてユーザがCMの継続表示を拒否すれば、ステップS7以降の処理を行い、ステップS6において一定時間が経過していなければ、ステップS4以降の処理を繰り返す。

【0024】次に、図5から図8までを参照しながら、クライアント12およびサーバ21の処理についてより詳細に説明する。

【0025】図5は、サーバ21の処理のフローチャー

トである。サーバ21は、まず、クライアント12に対してオンラインでCMの掲載およびポイントの表示を行い(ステップS11)、CMデータ31のダウンロード要求があるか否かを判定する(ステップS12)。

【0026】ダウンロード要求があれば、CMデータ31を業務用プログラムとともにクライアント12にダウンロードし(ステップS13)、ダウンロード回数をカウントアップし(ステップS14)、それをダウンロード回数32に記録する(ステップS15)。そして、所定の集計期間が経過したか否かを判定し(ステップS16)、集計期間が経過していなければ、ステップS11以降の処理を繰り返す。集計期間としては、例えば、1ヵ月またはCM掲載の契約期間が設定される。

【0027】集計期間が経過すれば、ダウンロード回数32に記録された回数を確認し(ステップS17)、ダウンロード回数の実績を集計する(ステップS18)。そして、集計結果に基づいてCM掲載料金を集計し(ステップS19)、実績通知と料金請求のための帳票を出力する(ステップS20)。

【0028】ここで、掲載料金は、CMの露出度に応じて算出される。例えば、オンライン表示のみが行われた場合は、料金は低くなり、より露出度が高いダウンロードによるCM表示が行われた場合は、料金は高くなる。集計されたダウンロード回数と掲載料金は、帳票に記録されて、広告依頼企業に送付される。

【0029】次に、広告依頼企業がCM掲載を継続するか否かを確認し(ステップS21)、掲載を継続する場合は、ダウンロード回数32の情報をクリアして(ステップS22)、ステップS11以降の処理を繰り返す。広告依頼企業から掲載の終了要求があった場合は、CMデータ31を削除してCM掲載を終了し(ステップS23)、処理を終了する。

【0030】図6および図7は、クライアント12がCMデータ31をダウンロードする場合の処理のフローチャートである。クライアント12は、まず、ネットワーク22に接続し(図6のステップS31)、サーバ21から業務用プログラムとともにCMデータ31(圧縮ファイル)をダウンロードする(ステップS32)。

【0031】次に、CMデータ31を解凍し(ステップS33)、ダウンロード時刻を時刻情報34に記録する(ステップS34)。そして、ダウンロード時に与えられるポイントをポイント情報33に加算し(ステップS35)、ネットワークとの接続を切断する(ステップS36)。例えば、ダウンロード時には、CMデータ31に含まれるCMを依頼した企業の数に比例するポイントがユーザに与えられる。

【0032】これ以降は、オフラインで処理が行われ、クライアント12は、ダウンロードされた業務用プログラムを実行して業務システムを起動する。この業務システムは、業務用プログラムの利用期間内であれば、複数

回起動できるものとする。

【0033】クライアント12は、ユーザの指示に従って業務システムを起動し(ステップS37)、表示すべきCMデータ31があるか否かを判定する(ステップS38)。そのようなCMデータ31があれば、時刻情報34を参照して、ダウンロード時刻から一定時間が経過したか否かを判定する(ステップS39)。一定時間としては、例えば、24時間が設定される。

【0034】一定時間が経過していなければ、現在時刻を表示開始時刻として時刻情報34に記録し(ステップS40)、業務画面にCMを表示する(図7のステップS45)。これにより、CMの表示が開始される。

【0035】次に、ユーザによりCM表示が拒否されたか否かを判定し(ステップS46)、CM表示が拒否されなければ、ダウンロード時刻から一定時間が経過したか否かを判定する(ステップS47)。一定時間が経過していなければ、次に、ユーザから業務終了が指示されたか否かを判定し(ステップS48)、業務終了の指示がなければ、ステップS45以降の処理を繰り返す。

【0036】業務終了の指示があれば、現在時刻を表示終了時刻として時刻情報34に記録し(ステップS49)、表示終了時刻から表示開始時刻を差し引いて合計表示時間を算出し、時刻情報35に記録する(ステップS50)。そして、業務システムを終了して(ステップS51)、処理を終了する。

【0037】図8は、業務システムにより表示される処理画面の例を示している。図8においては、委託業務の一覧を記述した事件ページ41とCM42が同一画面内に表示されており、CMを単独で表示する場合に比べて、CMの露出度がより高くなっている。また、ユーザは、消去ボタン43をポインティングデバイスで指示することにより、CM42の表示を拒否することができる。

【0038】ステップS46においてCM表示が拒否された場合、または、ステップS47において一定時間が経過した場合、クライアント12は、CMデータ31を削除して、CM表示を終了する(ステップS52)。そして、表示終了時刻を時刻情報34に記録し(ステップS53)、最終的な合計表示時間を算出して時刻情報35に記録する(ステップS54)。

【0039】ここで、最終的な合計表示時間は、ダウンロードから一定時間(例えば、24時間)以内にCMが表示された時間の総和を意味する。例えば、業務システムが一定時間以内に複数回起動された場合、それぞれの起動時における合計表示時間の総和が最終的な合計表示時間である。

【0040】次に、時刻情報35に記録された最終的な合計表示時間に基づいてポイントを算出し、得られたポイントをポイント情報33に加算する(ステップS55)。ここでは、例えば、表示時間に比例するポイント

がユーザに与えられる。

【0041】次に、ユーザが獲得したポイントとこれまでの累積ポイントを表示し、累積ポイントに応じて業務用プログラムの利用期間を延長する（ステップS56）。ポイントの表示は、例えば、図8のお知らせページ44を用いて行われ、ユーザは、随時、このページを参照してポイントを確認することができる。また、使用期限36を更新することにより、業務用プログラムの利用期間が延長される。

【0042】次に、CMを消去した業務画面を表示し（ステップS57）、ユーザから業務終了が指示されたか否かを判定する（ステップS58）。業務終了の指示がなければ、ステップS57の処理を繰り返し、業務終了の指示があれば、ステップS51の処理を行う。

【0043】また、図6のステップS39において一定時間が経過した場合、クライアント12は、前回の起動時までの最終的な合計表示時間を算出して時刻情報35に記録し（ステップS41）、その合計表示時間に対応するポイントをポイント情報33に加算する（ステップS42）。

【0044】次に、ユーザが獲得したポイントとこれまでの累積ポイントを表示し、累積ポイントに応じて業務用プログラムの利用期間を延長する（ステップS43）。そして、CMデータ31を削除して（ステップS44）、図7のステップS57以降の処理を行う。

【0045】また、図6のステップS38において、CMデータ31が既に削除されて存在しない場合は、ポイント加算は終了しているので、直ちに図7のステップS57以降の処理を行う。

【0046】ところで、広告依頼企業とサイト運営企業の契約形態によって、業務システムの起動時の初期画面においてのみCMが表示される場合と、図8のような処理画面においても常時CMが表示される場合とがある。後者の場合は、前者の場合よりCMの露出度が高いため、掲載料金もより高く設定される。そして、図6のステップS42および図7のステップS55においては、より高いポイントが加算される。

【0047】また、CMデータ31をダウンロードした日があらかじめ決められたボーナス日（毎週日曜日、毎月決められた日等）である場合、図6のステップS35、S42、および図7のステップS55において、通常の2倍のポイントが加算される。このボーナス加算を指定する情報は、サーバ21によりCMデータ31に付与されて、クライアント12にダウンロードされる。

【0048】以上説明した実施形態においては、ユーザが獲得したポイントに応じて業務用プログラムの利用期間が延長されているが、他の任意の特典をユーザに与えることもできる。例えば、業務用プログラムが有料で提供される場合、サイト運営企業は、ポイントに応じてその利用料金を割り引くこともできる。また、広告依頼企

業は、ポイントに応じて商品／サービスの割り引き等の特典を提供することもできる。

【0049】この場合、クライアント12は、ユーザの識別情報と累積ポイントをサーバ21に送信し、サーバ21は、受信した累積ポイントに応じた特典を与える処理を行ったり、受信した情報を帳票に出力したりする。そして、帳票を受け取った広告依頼企業は、累積ポイントに応じた特典を提供する。

【0050】また、CMデータ31は、必ずしも業務用プログラムとともにダウンロードする必要はなく、CM表示機能を持つ任意のプログラムとともにダウンロードすることができる。

【0051】また、CMデータ31とプログラムは、必ずしもネットワーク経由でユーザに提供する必要はなく、任意のコンピュータ読み取り可能な記録媒体に記録して提供することができる。

【0052】さらに、サイトに掲載される広告情報は、企業のCMに限られることはなく、任意の依頼者からの任意の掲載情報を含む。例えば、公的機関の公報や個人や団体の非営利的な掲載情報等も、同様にしてユーザ端末に表示することができる。

【0053】ところで、図3のクライアント12およびサーバ21は、例えば、図9に示すような情報処理装置（コンピュータ）を用いて構成することができる。図9の情報処理装置は、CPU（中央処理装置）51、メモリ52、入力装置53、出力装置54、外部記憶装置55、媒体駆動装置56、およびネットワーク接続装置57を備え、それらはバス58により互いに接続されている。

【0054】メモリ52は、例えば、ROM（read only memory）、RAM（random access memory）等を含み、処理に用いられるプログラムとデータを格納する。CPU51は、メモリ52を利用してプログラムを実行することにより、必要な処理を行う。

【0055】入力装置53は、例えば、キーボード、ポインティングデバイス、タッチパネル等であり、ユーザまたはサイトの管理者からの指示や情報の入力に用いられる。出力装置54は、例えば、ディスプレイ、プリンタ、スピーカ等であり、ユーザまたは管理者への問い合わせや処理結果の出力に用いられる。

【0056】外部記憶装置55は、例えば、磁気ディスク装置、光ディスク装置、光磁気ディスク（magneto-optical disk）装置等である。情報処理装置は、この外部記憶装置55に、上述のプログラムとデータを保存しておき、必要に応じて、それらをメモリ52にロードして使用することができる。また、外部記憶装置55は、サイト側において、広告情報のコンテンツを格納するデータベースとしても用いられる。

【0057】媒体駆動装置56は、可搬記録媒体59を駆動し、その記録内容にアクセスする。可搬記録媒体5

9としては、メモ리카ード、フロッピーディスク、CD-ROM (compact disk read only memory)、光ディスク、光磁気ディスク等、任意のコンピュータ読み取り可能な記録媒体が用いられる。この可搬記録媒体59に上述のプログラムとデータを格納しておき、必要に応じて、それらをメモリ52にロードして使用することができる。

【0058】ネットワーク接続装置57は、図3の通信ネットワーク22への接続に用いられ、通信に伴うデータ変換を行う。クライアント12は、上述のプログラムとデータをネットワーク接続装置57を介してサーバ21から受け取り、それらをメモリ52にロードして使用する。

【0059】図10は、図9の情報処理装置にプログラムとデータを供給することのできるコンピュータ読み取り可能な記録媒体を示している。可搬記録媒体59や外部のデータベース60に保存されたプログラムとデータは、メモリ52にロードされる。そして、CPU51は、そのデータを用いてそのプログラムを実行し、必要な処理を行う。

【0060】

【発明の効果】本発明によれば、インターネット上で通常オンライン表示されている広告情報をユーザ端末にダウンロードし、常時オフラインで表示することができるようになる。したがって、広告情報の露出度が向上し、それを見たユーザに特典が与えられるポイント制度を実現することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の広告システムの原理図である。

【図2】広告提供の仕組みを示す図である。

【図3】広告システムの構成図である。

【図4】広告提供処理のフローチャートである。

【図5】サーバの処理のフローチャートである。

【図6】クライアントの処理のフローチャート（その1）である。

【図7】クライアントの処理のフローチャート（その

2）である。

【図8】業務画面を示す図である。

【図9】情報処理装置の構成図である。

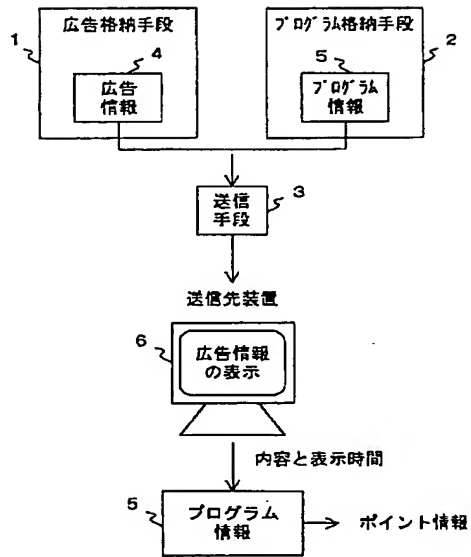
【図10】記録媒体を示す図である。

【符号の説明】

- 1 広告格納手段
- 2 プログラム格納手段
- 3 送信手段
- 4 広告情報
- 5 プログラム情報
- 6 送信先装置
- 11 コンテンツ
- 12 クライアント
- 13 CM実績
- 21 サーバ
- 22 通信ネットワーク
- 31 CMデータ
- 32 ダウンロード回数
- 33 ポイント情報
- 34 時刻情報
- 35 時間情報
- 36 使用期限
- 41 事件ページ
- 42 CM
- 43 CM消去ボタン
- 44 お知らせページ
- 51 CPU
- 52 メモリ
- 53 入力装置
- 54 出力装置
- 55 外部記憶装置
- 56 媒体駆動装置
- 57 ネットワーク接続装置
- 59 可搬記録媒体
- 60 データベース

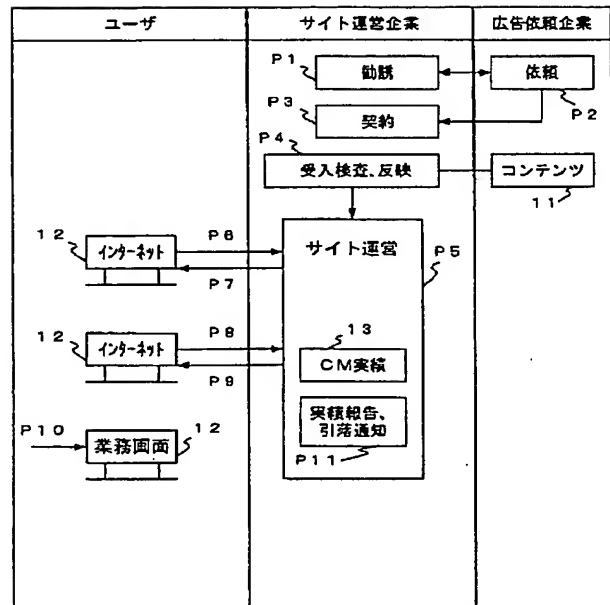
【図1】

本発明の原理図



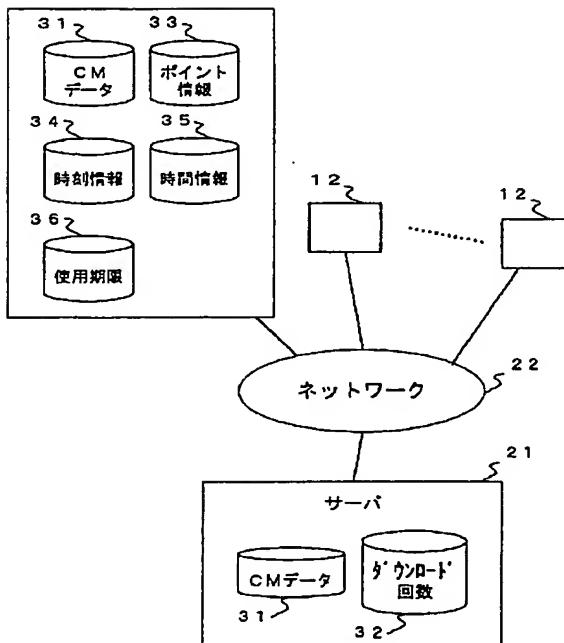
【図2】

広告提供の仕組みを示す図



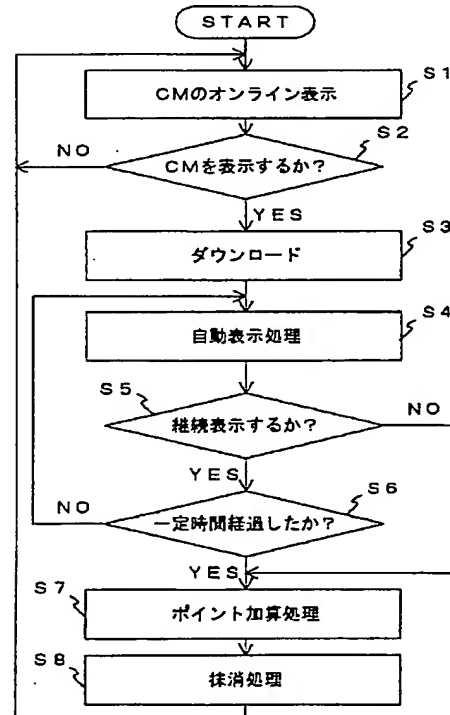
【図3】

広告システムの構成図



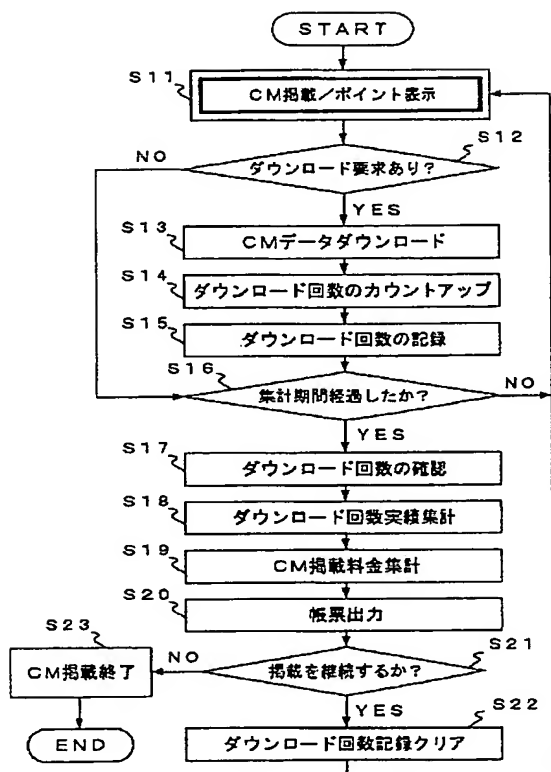
【図4】

広告提供処理のフローチャート



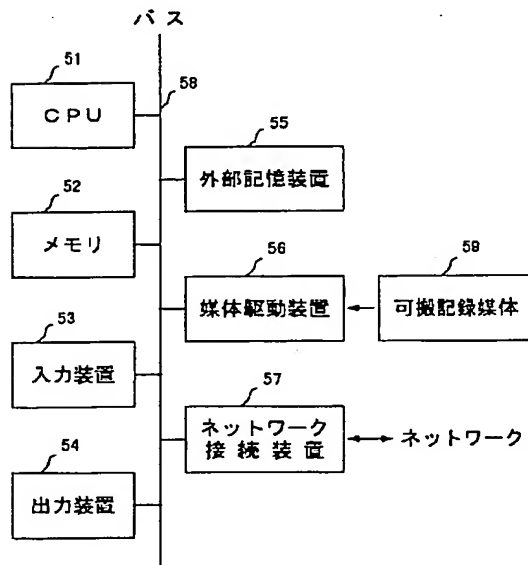
【図5】

サーバの処理のフローチャート



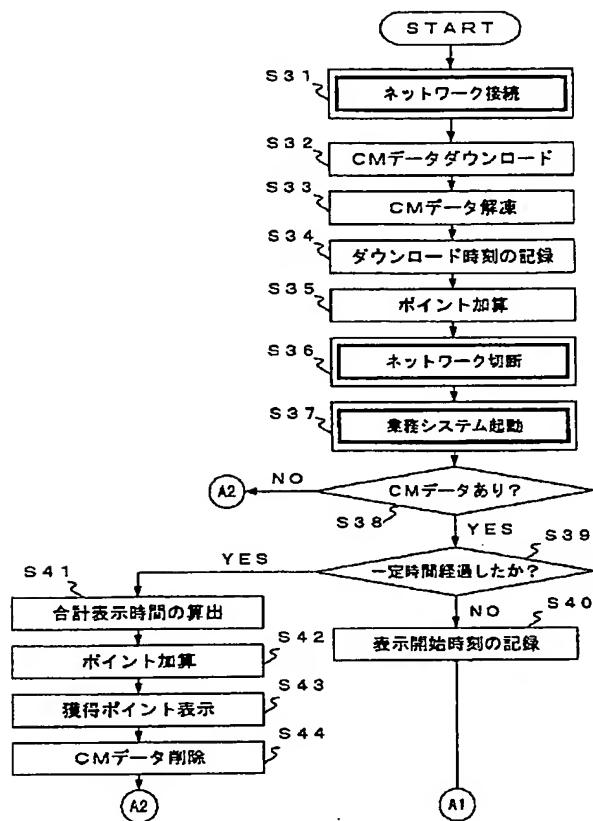
【図9】

情報処理装置の構成図



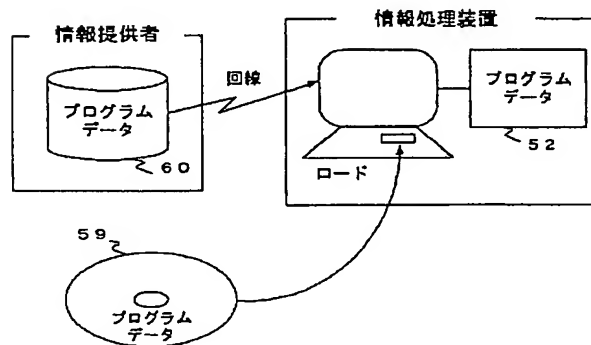
【図6】

クライアントの処理のフローチャート（その1）



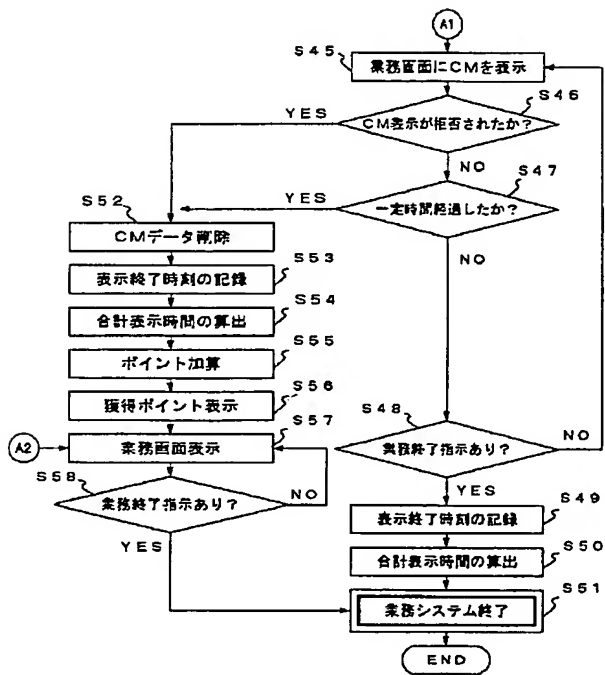
【図10】

記録媒体を示す図



【図7】

クライアントの処理のフローチャート（その2）



【図8】

業務画面を示す図

終了 管理・統計 環境 お知らせ 4.4 クリア ヘルプ 検索 新規登録

平成 11 年 08 月 05 日 から 平成 11 年 10 月 05 日 まで

依頼人: 依頼人
委託名: 委託名
状況表示: 請求書発行状況 入金状況 完了状況

□不動産□商業□旅館□百貨店□その他

受付日	依頼人氏名	委託名	不動産	商業	旅館	百貨店	その他	請求	入金
11/09/05	A	AAA	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0
11/09/10	B	BBB	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0
11/09/20	C	CCC	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0
11/09/25	D	DDD	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0
11/10/05	E	EEE	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0

CM 請求書

フロントページの続き

(72) 発明者 坂本 薫
 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番
 1号 富士通株式会社内

Fターム(参考) 5B049 AA06 BB49 CC00 EE00 EE02
 FF03 FF09 GG02 GG04 GG07
 GG08